

人妻女子たちの隣 街の温泉習慣

辺鄙な田舎街で働く人妻たち。

主に二人、アクセサリー売り場で働くサ
リカとドラッグストアでパートをする
エリカ。他にも数人仲間たちがいる。

・・・・・・・・皆に最近共通している一つの習慣がある。

それは最近ではほぼ毎日、夕方になれば街の境目の峠を越えて隣街の温泉へ行くこと。

老舗の古いものである。

最近改装されたが昔のままの古き良き
雰囲気十分残っている。

女子たちは湯船に浸かりながら夜更け
近くまで過ごす。

初めは息抜きや趣味の時間つぶしのは
ずが・・・・・・・・。

・・・・・・・・。

彼女たちは昼間働きながら夜が楽しみに
に・・・・。

住む街も景色を変え、都会の方からもバスや列車などで田舎町に客数が増えている時代。女子たちの趣味の岩風呂への客足も増えている。

最近は特にハダカの女子たちで多くな
った。

遠くの街から来る客たちの交通手段は
主にバスか列車。

バス停からはすぐだが、列車なら駅から歩いて時間がかかる。

山の麓（ふもと）の辺鄙（へんぴ）な場所にあるが・・・・・・・・。

ハダカの人妻たちはここへきはじめて
少しずつ本格的な習慣へ・・・・・・・・。

温泉の近くには河川があり、その上に高
速道路のコンクリート橋がかかっ
ている。

温泉西側には最近出来たショッピング
モール。

比較的遠くから来た女子たちも温泉後に立ち寄っている。

夏終わりはまだ暑く・・・・・・・・コンクリート橋にはトラックやバイクなどがたくさん。

・・・・・・・・夜になればその温泉周辺には
暗めの橙（だいだい）色の電灯が灯る。

時代は暖簾（のれん）の古き良きと新し
さがミックスされた少し違和感の時
代である。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)